

かつて若狭から京の都へと海産物などが運ばれた「鯖街道」。中でも、福井県高浜町からおおい町、南丹市美山町を経て京都市へとつながるルートを「西の鯖街道」とし、街道沿線市町が連携して地域活性化を目指す協議会が結成されました。（中島三夫会長）美山文化ホールで行われた発会式には4市町から行政や商工会など多数の関係者が出席。それぞれの特産物を共同店舗で都市部に広げる計画など連携した事業や、観光振興に取り組んでいけます。



▲中島会長が「力を結集して地域の発展を」とあいさつ

(4/23 西の鯖街道協議会発会式)

「かつてのつながり・文化を今再び鯖街道にのせて運ぶ、新たな魅力」

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲雨なんてへっちゃら！元気いっぱいスタート

日吉ダム湖畔周辺コースを走る「日吉ダムマラソン」の第12回大会が開催されました。今回から種目を一部変更し、3kmロードレース（小中学生男女）を新設。市内小中学生の参加が増え、過去最多の2,673人の申し込みがありました。

大会当日は雨模様でしたが、全国各地から集まったランナーが府民の森ひよしをスタート・ゴールに、景観美を誇るコースを快走。今回初めて電気自動車が一周を先導しました。また、200人を超えるボランティアスタッフが、会場設営から当日の受付、監察、給水など大会の運営を支えました。



▲「がんばれー」スタッフの激励に選手「ありがとう！」

「過去最多のランナー！湖畔を快走」

(4/26 第12回日吉ダムマラソン大会)

「ペダルを踏み込み熱き闘い力の限り」



◀力強くスタートした小学生選手たち

(5/31 2009美山サイクルロード)

美山文化ホールを発着点として、昨年日本風景街道「美山かやぶきの里由良里街道」に登録された区間を含む1周10.1kmのコースを周回する「美山サイクルロード」が開催されました。小学3年生から国体予選会として出場する上級者まで928人、近畿圏内をはじめ遠くは神奈川県からもエントリー。レースでは叫び声を上げて熱戦を繰り広げる選手の姿もあれば、転倒し負傷しながらも外れた車輪を手に最後まで歩き続けた選手の姿もあり、沿道からは惜しめない激励の拍手が送られました。